

議 会

- 第3回定例会 -

9月12日に招集された第3回定例町議会は、15日に閉会しました。今定例会では、町長、教育長の行政報告のほか、補正予算などが審議されました。町長と教育長の行政報告の概要についてお知らせします。

町長行政報告

1、JR日高線の復旧に向けた取組など
「JR日高線沿線地域の公共交通に関する調査・検討協議会」の第2回協議会が去る7月11日に、第3回協議会が9月7日に開催されております。

7月11日の第2回協議会では、JR北海道の西野副社長から、本年2月18日に受けたバス転換に向けた協議のお願い時に示された、地域振興への支援策についての考え方が示されましたが、あくまでもJR北海道側の考え方であり、協議会としてはバス転換を承諾した訳ではないため、説明を受けたという形に留めております。

9月7日の第3回協議会では、JR日高線沿線地域の公共交通に関する調査の中間報告があり、調査の基

は2735名と減少しており、障害者においても同様の傾向となっております。

新冠温泉レ・コードの湯は、本年12月、開設より20年目を迎える訳でございますが、温泉効能による高齢者などの健康増進を図る目的で講じてきた寿入浴事業の主旨に鑑み、対象年齢の引き下げと交付枚数の拡大を行うことを検討し、対象年齢については現在の75歳から70歳に下げ、交付枚数については現在の12枚から36枚に拡充すること致しました。

5、農作物の生育状況と販売状況
はじめに町内の主な農作物の生育状況からご報告申し上げます。

まず、水稲であります。北海道農政事務所による8月15日現在の道内の作柄状況は、「平年並み」と見込まれております。

これは、6月の気候が低温・日照不足で経過し、穂数や全もみ数が「やや少ない」と見込まれたものの、7月中旬から下旬にかけて、高温・多照が続き、登熟が進んだことから「やや良」と見込まれたものでございます。



東川地区の稲刈りの様子

本的な考え、調査検討事項、調査を行う代替交通機関などについて検討することとされました。

大狩部、厚賀間の護岸決壊による土砂流失につきまして、恒久対策の目途は見えないため、日高町村会及び日高総合開発期成会として、去る7月27日にJR北海道本社や北海道の関係部及び北海道議会各会派に要請活動をしております。また、同月31日には上京し、道内選出の国会議員並びに国土交通大臣などに緊急要望を行いました。

大狩部・厚賀間の護岸に係る応急工事につきましては、海への土砂流出を防ぐことを目的に昨年12月に着工し、総工費として約1億9200万円をかけ、流失した管理用道路の復元と、倒壊した護岸の代用として大型網籠を429m、消波ブロックを69m設置する内容で実施され、JR北海道から本年8月18日に完了したとの報告を受け、8月23日に漁協関係者とともに現地を確認しました。

2、町政懇談会の実施について

住民本位の町政の推進や町政への理解を深めていただくため、町長が地域に出向き町民と膝を交えて町の取組みや各種事業の方向性などについて説明を行うと共に、地域の方々と地域の課題などについて意見交換を行うため、今年度から町政懇談会を開催いたします。

実施時期は新年度予算との兼ね合いもあることから、11月下旬から12月と日照不足により登熟が緩慢に推移しているとのこととす。

ピーマンにつきましては、一部のほ場でアザミウマなどの害虫やカビ、尻ぐされの発生が見られるものの、順調な生育で推移してはいますが、8月以降の天候不順により生育は鈍化し、出荷量も減少傾向にあるようです。

牧草につきましては、天候が平年に比べ降水量が少なく推移したものの、1番草・2番草とも平年並みの生育となり、収穫作業は平年よりも早く進んだとのこととす。

飼料用とうもろこしは、6月中旬の低温や日照不足により、草丈が短く、葉数もやや少ない状況が続いております。8月に入り生育は平年並みに回復しております。

次に8月末日現在における新冠町農協取り扱いの農作物の販売状況について申し上げます。

9月以降の収穫となる水稲を除き、総販売額は資料に記載のとおり4億8711万1千円で、前年よりも13・7%増、金額で5900万円ほど上回る状況で推移しております。

当初を日途に開催し、開催結果や協議事項などを報告する機会として、翌年の4月から5月頃に自治会長会議の開催を予定しております。



H21年開催の町政懇談会の様子

まちづくりへご提案やご意見を町政に反映させ、よりよい町づくりを推進して参りますので、住民各位の町政懇談会への参加をお願いしたいと思っております。

3、新冠妊婦情報登録制度について

当町における出産環境については、町内に産科医療機関がないことから、苦小牧市や浦河町での出産となり、出産時の移動に対する不安は大きいものとなっております。

そのため出産に係る緊急時の迅速な対応を図るため、昨年12月1日より「にかっぷママさぼくと119」として、妊婦情報を日高中部消防組合新冠支署へ登録することにより、妊婦の急な破水、痛みや出血などの緊急時に119番通報し迅速に産科医療機関へ搬送することができるよう制度を開始したところです。

教育長行政報告

1、教育委員会点検・評価報告書

平成19年の法改正により教育委員会の権限に属する事務事業の管理及び執行の状況について、点検・評価を行うことが義務付けられました。当町におきましても例年、報告書を作成し、議会への報告、また町のホームページにおいて公表するなど、透明性のある教育行政に努めております。

この結果に基づき、さらに事業の改善を図って参ります。

2、全国学力・学習状況調査について

本年、4月18日に実施いたしました全国学力・学習状況調査についてです。小学6年生、中学3年生を対象に国語及び算数、数学で実施した調査の結果は、昨年度と比較しますと、小中学校ともに全体的に上昇傾向が見られております。

詳細は、今後発行されます、町の広報誌において結果と今後の改善策を公表いたしますが、本年度の結果が全国並に上向いたことは、児童・生徒の頑張りはもちろんのこと、教職員の日々の取り組みと各家庭のご理解の結果と考えますが、あわせて、ICT機器の導入や、学習支援員の配置、加配教諭による習熟度別学習など、児童、生徒の学習環境整備の推進、あるいは、授業公開や各種研修事業を通じた教師の資質向上の取組が結果になって現われおり、今後、更に調査結果を分析し、



昨年度の国内研修の様子

今後は、さらなる出産環境の不安解消を図るべく、緊急時に119番通報の必要性はないものの速やかに登録病院へ向かうよう医師などより指示を受けた場合に、家族などが不在などの事情により搬送が困難な場合に、ハイヤーを利用して登録病院へ向かう事の出来る制度を開始し、その費用の一部を助成するもので、妊婦や家族に対する支援の充実を図って行くものと考えています。

4、新冠町寿入浴事業について

寿入浴事業につきましては、平成10年12月2日の新冠温泉レ・コードの湯オープンにあたり温泉の町民還元事業として、65歳以上の高齢者及び障害者に無料入浴券を交付し、福祉の向上と温泉の利用促進を図る事を目的に、福祉施策として実施してきたところです。

当初、寿入浴事業は、温泉無料入浴券を月当たり2枚換算とし年間24枚を交付しておりました。

その後、平成15年度には交付対象及び枚数の見直しにより、75歳以上と障害者は年間24枚、65歳から74歳の方々は、年間12枚に削減しております。

そして、平成18年度からは75歳以上の方のみを対象に年間12枚交付するに至っております。

次に、入浴券の利用状況でございますが、75歳以上の高齢者で比較いたしますと、平成18年から25年度までは年間延べ3200名平均の利用でしたが、平成26年度は3088名、27年度2965名、28年度において

課題を整理しながら、学力向上に向けた取組を継続して参りたいと考えております。

3、中体連全道大会の出場結果

本年度は、卓球、男子バレー、剣道、柔道、水泳、の5種目が全道大会に出場いたしました。男子バレー、柔道がベスト8、剣道については、ベスト16の成績を納めました。

4、新冠町少年国内研修交流事業

本年度の少年国内研修交流事業は、例年どおり研修先を沖縄県とし、金武町でのホームステイと交流を盛り込んだ内容で準備を進めております。本年度は、定員20名の募集に対し13名と定員を7名下回る応募となりましたが、去る7月27日に面接選考を終え、全員を参加者とする事で決定いたしました。

なお、今回、定員を下回る応募であったことを受け、本年度においては、アンケート調査を実施するなどして、その要因を分析し、次年度以降の事業運営に反映させてまいりたいと考えております。